

自動車産業の面白さ知って

富士宮のエッチ・ケー・エス

富士宮市の自動車部品メーカー「エッチ・ケー・エス」は、自動車産業の担い手不足解消を目指して工場見学会に注力している。14日は地元西富士中1年生24人を招き、ものづくりの面白さを伝えた。

同社は2023年から地元中高生を対象に始めた。開催日は各部署の責任者がマイクを持ち、自動車部品それぞれの役割や精密な工程を紹介するほか、完成後の姿も展示している。

同日は本社工場でサスペンションや過給器の製造工程を案内した。車を運転しない中学生に対し、サスペンションは段差の衝撃吸収や走行時の姿勢制御を担っていることから解説。部品によってはマイクロメートル単位の精密さが求められ、パソコン上でシミュレーションしている部署があることも紹介した。

特別にタイムアタック競技仕様に調整したトヨタの「GR86」も披露した。公道を走る乗用車とは違う爆音に生徒は耳をふさぎ、運転席で

担い手確保へ 工場見学会に注力



は興奮気味にハンドルを握った。総務課の矢畑深志課長は「若者の車離れが言われて久しいが、親が好きで影響を受ける子もいる。車の楽しさを肌で感じ、就きたい職業の候補に入れてくれたらうれしい」と話す。

(富士宮支局・国本啓志郎)

中学生に工程を解説する社員＝富士宮市のエッチ・ケー・エス本社工場(写真の一部を加工しています)